

アース・エコ メールマガジン

Earth Eco Mail Magazine

地球 生態 郵便 雑誌

지구 친환경 뉴스레터

アース・エコ
メールマガジン No.9-17
2018年12月7日(大雪)
特定非営利活動法人
アース・エコ 発行

アース・エコ会員の皆様と、日頃からアース・エコの活動にご理解、ご支援をいただいている会員外の皆様にアース・エコの活動をお知らせするため、月2回、メールマガジンをお届けしています。

ポイ捨てなどで回収されずに河川などを通じて海に流れ込む海洋プラスチックごみ。地球規模での環境汚染が懸念されます。個人・団体・行政などがそれぞれの立場でできる取組を行い、プラスチックと賢く付き合っていくために、環境省は「プラスチック・スマート」キャンペーンを実施しています。



<http://plastics-smart.env.go.jp/>

かながわ環境教室 葉山町内の小学校②

11月21日(水) 葉山町内の小学校でかながわ環境教室「あなたも省エネに挑戦！地球温暖化防止」を行いました。葉山町の小学校で今期2校目の出前授業です。対象は5年生2クラス78名で、後3名多ければ3クラスになる人数で、1クラスが多数です。幸い講師も9名と多く参加頂けました。

ひと月前の先生との事前打ち合わせでは「各クラスに1名ずつ元気の子がいる。」と心配されていましたが、授業はスムーズに進める事ができました。

授業中、担任の先生に「素直な子たちじゃないですか。」と投げかけると、「きつく言い聞かせましたから。」との事。「そんなに気を遣われなくても良いのに、先生も大変な仕事だな。」とつくづく思いました。これからの世の中を背負っていく子どもたちと前向きに取り組まれている先生に「少しでも役立つ授業にしていかなければ。」との思いを強く感じさせられます。

授業の始めの問いかけの「地球温暖化って知っている?」、「原因は?」にも2クラスともに多くの子が手を挙げ、適切な答えが返ってきました。授業の終わりには「このまま自分たちが今のままの生活を続けると、地球温暖化により大変な事になる。まずは自分ができる省エネに一生懸命取り組んで行こう。」との思いが伝わってくる授業でした。アンケートに「50年後、100年後になぜ気温がそんなに上がるのかを調べたい。」と関心を示す子もいて楽しみです。

校長先生、教頭先生ともに今年度赴任されましたが、昨年に引き続き私たちの授業を大切な事と位置づけて頂き、積極的に対応して頂きました。[内田]



ドライヤーの消費電力を測定する



「暮らし方の違いさがし」に取り組む

かながわ環境教室 横浜市青葉区内の小学校科学クラブ2日目

11月27日(火) 横浜市青葉区内の小学校の科学クラブで「かながわ環境教室」の出前授業を実施しました。同一校で2回に分けて企画された2回目の授業内容を報告します。

対象は4～6年児童20名です。「身のまわりのエネルギーから環境を考えよう」のテーマの下、「クリップモーター工作」、「電磁誘導の基礎実験」を実施しました。今回の工作および実験では磁石が重要な役割を担うこ

とから、まずは「磁石が持つ不思議な力」を簡単に説明しました。

クリップモーターはコイル状のエナメル線の回転子、磁石および乾電池を用いた単純な構造ですが、作動原理が理解し易く、目に見えない物理現象を児童にわかり易く提供してくれます。児童は真剣にモーターの製作に取り組み、コイルが回転しだすと歓声をあげ、笑顔が印象的でした。児童全員が順調にモーターを完成させるこ

とができました。

電磁誘導の基礎実験では検流計を用いて空芯コイルに磁石を出し入れすると電気が発生する様子を観察しました。また、磁石の強さなど条件を変えると電気量の大きさが変わることなど観察しました。更にこの電磁誘導の発見に多大な貢献をした科学者ファラデーを紹介しました。

時間に追われながらも無事出前授業を終了しましたが、欲を言えば工作や実験で使われている物理の原理に今一步踏み込んだ授業の展開が今後の課題です。な

お、以下のコメントを付記します。

横浜市は小学校(原則5、6年生)を対象とした「理科支援制員制度」を導入しています。筆者も過去理科支援員として勤務しましたが、課外授業の一環で行われる科学クラブの活動で担当の先生は活動のテーマ探しに苦慮されているのを多々見受けました。アースエコの2回に亘る今回の出前授業は科学の重要な基本原理で構成されており、また児童にとって理解し易く、学校からも歓迎される内容であったと思います。 [矢島]



クリップモーターを組み立てる



完成したクリップモーターを回す



電磁誘導の実験を見る

クリスマス親子エコ工作塾 横浜市藤が丘地区センター

12月1日(土) 横浜市青葉区の藤が丘地区センターで「クリスマス親子エコ工作塾」を開催しました。参加したのは小学生12名とその保護者の皆さん。最初に地球温暖化について話を聞いてもらい、その後で省エネ実験を体験し、最後に工作という、120分の時間には盛りだくさんの内容のプログラムでした。

参加した小学生は低学年が多いので、なるべく分かり易く簡単な説明を心がけましたが、それでも難しいところはお家に帰ってから保護者の皆さんからフォローしていただくようお願いしましたので、保護者の皆さんも真剣に勉強していました。省エネ実験では、手回し発電で40W電球点灯実験、白熱電球とLEDランプの消費電力比べ、ドライバー消費電力と待機電力の測定と、燃料電池自動車の実験を体験しましたが、これも保護者の皆さんにとっても勉強になったと思います。

最後に行った工作はクリスマスツリー作りで、早くも師走の到来を実感させます。昼間にソーラーパネルで発電して蓄電池に充電した電気で、夜にクリスマスツリーをLEDでライトアップする趣向ですが、小学校低学年が多いため電気系統はあらかじめ配線済みにして、はさみを使った紙工作を主体に、用意した様々なパーツを使ってクリスマスツリーの飾りつけを楽しんでもらいました。

最後にアンケートに回答してもらいましたが、子どもたちからは「工作が楽しかったので来年も参加したい。」との意見、保護者の方からは「地球温暖化や省エネが勉強になった。」とのご意見をいただきました。プログラムの内容に概ねご満足いただいたようです。

今回の教室は「よこはま夢ファンド」の助成金によって開催しました。参加した講師・スタッフは6名でした。 [桑原]



省エネ実験を体験する子どもたちと保護者の皆さん



小さい子どもは保護者に手伝ってもらいながら工作を楽しむ

ECO-TOP 報告会



昨年度アース・エコで実習を行ったTさんの発表

11月25日(日)東京都庁でECO-TOPプログラム インターンシップ合同報告会が開催されました。ECO-TOPプログラムは東京都環境局と大学が連携して行っている事業で、大学のカリキュラムと企業・NPO・行政の3部門へのインターンシップを通じ、自然環境分野で幅広い知識を有し、アクティブに行動できる大学生を育成し、社会へ送り出す人材育成プログラムです。首都大学東京、桜美林大学など7大学がプログラムに参加しています。

アース・エコは毎年 NPO 団体としてインターンシップの大学生の受け入れに協力しています。平成 29 年度は桜美林大学から2名の学生を受け入れ、アース・エコの活動に5日間参加してボランティア活動を体験してもらいました。報告会ではこの2名の成果発表も聞かせて貰いました。

各 15 分の持ち時間で、ポスターの前で発表と質疑を行いました。二人とも堂々として熱のこもった発表でした。毎年報告会で発表を聞かせて貰っていますが、全体的に年々質が向上している気がします。特に今年はポスターのまとめ方や配色などが一段と良くなった印象でした。学生の皆さんの努力もさることながら、きめ細かくご指導にあられた先生方の熱意にも敬意を表したいと思います。

[桑原]

さがみはら地球温暖化防止フォーラム

12月6日(木)橋本駅近くの「杜のホールはしもと」で、相模原市とさがみはら地球温暖化対策協議会の主催による「さがみはら地球温暖化防止フォーラム」が開催されました。今回は「まむしと学ぼう! エコでお得な家電の買い替え」がテーマ。コーディネーターに東京大学客員准教授の松本真由美先生、トークゲストにタレントの毒蝮三太夫さんをお招きしての1時間30分のトークショーでした。私は省エネの専門家?の立場でお二人のトークショーの合間に家電製品の省エネについて解説する役割でした。

当日は前夜から冷たい雨の降る天気で、来場者の出足が気になりましたが、午後1時30分には開場を待つ100人ほどの列ができるほどでした。

このような形式のステージでお話するのは私には初めての経験で、松本先生とのリハーサルは行ったものの、まむしさんとはぶっつけ本番なので、まむしさんがどんな話を切り出すのか、予定の時間を超えて話が長くならないか、進行が心配でした。

笑点の座布団運びの頃からまむしさんをテレビで見えていましたが、ステージでは御年82歳を感じさせない、はつらつとした態度と張りのある声が印象的でした。まむしさんにとっては、普段のラジオ番組とは違い少し硬いテーマのステージで、どんな話をしたら良いか手探りで話をされているように感じました。時折予期しない方向に話が展開しそうなこともありましたが、進行役の松本先生の慣れたリードで軌道修正しながら、時間通りにほぼ台本に沿った内容でステージをまとめることができました。

トークショーの後にはプレゼント抽選会があり、家電製品の割引券や省エネ家電などを手に入れた参加者の皆さんは嬉しそうに帰って行きました。

[桑原]



松本先生とまむしさん

これからの活動予定

- ◇ 12月8日(土) クリスマス親子エコ工作教室 横浜市長津田地区センター
- ◇ 12月10日(月) かながわ環境教室 横浜市緑区内の小学校
- ◇ 12月15日(土) クリスマス親子エコ工作教室 横浜市菊名地区センター
- ◇ 12月22日(土) さがみはら地域づくり大学 ユニコムプラザさがみはら
- ◇ 平成31年1月22日(火) かながわ環境教室 葉山町内の小学校③
- ◇ 2月16日(土) 子ども向け理科実験教室 相模原市立環境情報センター
- ◇ 2月20日(水)、21日(木) かながわ環境教室 葉山町内の小学校④

上記は計画が確定していないものを含みます。詳しくは事務局にお問い合わせください。 earth.eco.jimukyoku@gmail.com

12月の例会・勉強会

12月17日(月) 13:30-16:30

かながわ県民センター会議室

会員の皆様のご参加をお待ちしています。

会員外の皆さんも、例会・勉強会やほとんどの活動を見学することができます。詳しくは事務局にお問い合わせください。

アース・エコ メールマガジンのバックナンバーは↓からご覧いただけます

<http://www.kiykuwahara.com/page03/page03.html>

アース・エコは持続可能な社会の実現を目指します

13 気候変動に具体的な対策を



地球温暖化などの気候変動とその対策(緩和と適応)について理解が深まり、行動に移す人が増えるように、以下の活動に取り組みます。【13】

- 電気、ガス、ガソリンなどのエネルギーの使用効率を良くする方法を伝え、家庭での省エネの実践を呼びかけます。【7】
- 限りある資源やエネルギーに過度に依存した生活から自然と調和した生活へと、ライフスタイルの変更を呼びかけます。【12】
- 持続可能な社会の姿とそれを実現するための知恵をより多くの人と共有し、行動します。【4】
- 科学者・技術者を目指す子どもが増えるように、科学・技術のおもしろさ・楽しさを子どもたちに伝えます。【9】

以上の活動を、行政、学校、市民団体などとのパートナーシップにより進めます。【17】



地球温暖化やボランティア活動に関心のある方

私たちと一緒に活動しませんか？

アース・エコの活動に参加してみませんか。例会・勉強会の見学も歓迎します。事前にメールでお問い合わせください。⇒ info@npo-earth-eco.com

会員募集中！

アース・エコ

検索



私たちの活動は皆さまからのご寄附で支えられています

アース・エコへの寄附は「よこはま夢ファンド」にお申し込みください。インターネットまたは郵送・ファクス・Eメールでお申込みの際に、支援したい団体に「アース・エコ」をご指定ください。税の優遇措置が受けられます。

詳しくは <http://www.city.yokohama.lg.jp/shimin/>

アース・エコは地球温暖化防止活動に取り組むボランティア団体です。

ホームページ <http://www.npo-earth-eco.com>

お問い合わせ、お申込み、メルマガ配信希望・配信中止のご連絡はこちらまで info@npo-earth-eco.com